

交流で読み解く西陣

―路地・歴史・文化―

ANEWAL Gallery は 2005 年、築 130 年の京町家を拠点に活動を開始。2013 年に法人化し、現在西陣地域に 5 ヶ所の拠点を運営。それらを起点に西陣地域においてアート & デザインの視点から文化芸術からまちづくりまで、地域社会に貢献すべく地域と協働したさまざまな活動を行っています。今回はこれまでの ANEWAL Gallery の活動を通じ、学び、培った地域の人々との交流から始まる企画プロセスを皆さんと共有すると共に、これからの西陣における「交流」についてお話します。

日 時：令和6年10月12日（土）午後1時30分～午後3時

会 場：京都市考古資料館 3 階旧貴賓室

（京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町 265-1）

入場無料

定 員：40 名（当日先着順）受付は午後1時より1階にて



講 師：飯高克昌 氏

特定非営利活動法人 ANEWAL Gallery 代表理事／アートディレクター

都市計画・建築設計を学んだ後、設計事務所勤務を経て、2004 年アーティスト・クリエイターらと共に ANEWAL Gallery 設立。“外に出るギャラリー”をコンセプトに通りや路地、地下道、廃屋から重要文化財まで都市の様々な空間において文化・芸術と地域・公共を繋ぐ活動を展開。人々のアクティビティによる空間資源の活用と創出、その在り方を模索している。



ANEWAL Gallery の活動様子

主 催：西陣歴史の町協議会
お問い合わせ：（075）432-3245

共 催：京都市考古資料館
京都市考古資料館（休館日：月曜日 ※祝日の場合は翌平日）